⑩日本国特許庁(JP)

①灾用新案出顾公開

平2-144191

❷ 公開実用新案公報(U)

€Int, Cl. *

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)12月6日

G 11 B 33/08 F 18 F 15/02 E 7627-5D C 6581-3 J

審査請求 未請求 酵求項の数 4 (全3頁)

日考案の名称 防振装置

②実 頭 平1-50934

❷出 願 平1(1989)4月30日

⑰考 案 者 和 田

大阪府大阪市淀川区官原3丁目5番24号 日本電気ホーム

エレクトロニクス株式会社内

向考 塞 署 浦 野 邦 i

庞 大阪府大阪

大阪府大阪市淀川区宮原3丁目5番24号 日本電気ホーム

エレクトロニクス株式会社内

砂出 取 人 日本

日本電気ボームエレク

大阪府大阪市中央区域見1丁目4番24号

トロニクス株式会社

Ø代· 理 人 弁理士 佐伯 忠生

砂実用新本登録請求の範囲

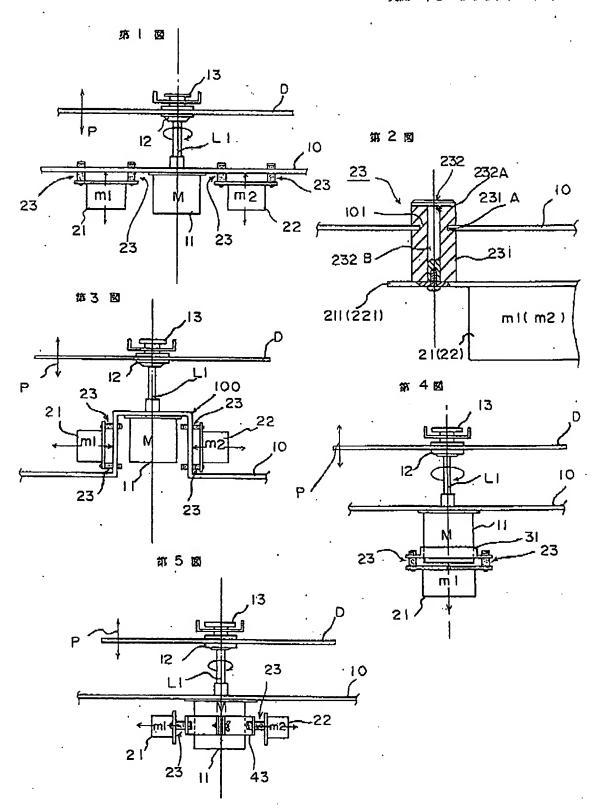
- (1) ディスクを回転駆動するモータ、又は該モータを取付けているシャーシに重量物を支持パネ 系を介して取付けたことを特徴とする防振装 器。
- (2) シャーシに取付けられたモータと、このモータの駆動によつて回転されるデイスクとを有するものにおいて、ゴム系の樹脂とこれを保持する部材とにより支持パネ系を構成し、この支持パネ系を介して前配モータ又はその近傍の前記シャーシに重量物を付加したことを特徴とする防振装置。
- (3) 支持パネ系と重量物とにより動的吸振器を構成し、その吸振の作用方向がデイスクの面と垂直方向に向う様に前配動的吸振器を前配モータ 又はシャーシに配置したことを特徴とする請求

項(2)に配載の防振装置。

図面の簡単な説明

第1図は本案に係る防振装置の第1の実施例を 示す正面図、第2図はその関部断面図、第3図、 第4図は本案の第2、第3の実施例を夫々示す正 面図、第5図は本案に係る防振装置の第4の実施 例を示す正面図、第6図はその要部平面図、第7 図は従来のデイスクプレーヤを示す側断面図であ

D……デイスク、10……シャーシ、11……モータ、21,22……重量物、211,221……フランジ、23……支持パネ系、231……パネ体、232……スタッド、110……取付枠部、41……取付パンド、42……防振体、43……支持枠。



. Areat

実開 平2-144191(3)

第6 図

